

2016年11月号  
FP武蔵野グループ



## 「ライフプラン作成の重要性」

今村 幸雄 (CFP 認定者・1級FP技能士)

### 1. はじめに

皆さんはライフプランという言葉をご存知ですか？

ライフプランとは、日本語に直すと生涯生活設計となりますが、具体的に金額で生活計画を表すことによって自分の生き方を「見える化」することです。ライフプランを方向付ける、その人が持つ価値観や目標を「ライフデザイン」と呼び、ライフデザインでは、自分の生き甲斐、健康、金銭面での計画を立てます。この計画に基づいてライフプランを作成し、自分の将来に問題がないか分析します。ライフプランを作ることは、簡単に言えば健康診断（人間ドッグ）をすると考えればいいでしょう。

### 2. ライフプラン作成の意義

日本は90年代初頭のバブル崩壊以降、低成長社会、良く言えば成熟化社会を迎え、それまでの終身雇用や年功序列の賃金制度、安定した年金をもらえる時代ではなくなってきました。会社に勤めてさえいれば一生安泰に暮らせる社会ではなく、個人が自分で考え、自分に合った生き方を求められる社会になりました。

さらに、追討ちをかけたのが少子高齢化の現実です。特に日本人は長寿になった結果、リタイア後の生活期間が現役時代の3分の2を占めるようになり、老後起こる介護問題や認知症などに備えなければならなくなりました。自分だけでなく、親も長寿になり更に失われた20年と呼ばれる不況で子供が定職に就けないという事態も起きています。今や「長生きは最大のリスク」と呼ばれ、「老後破産」などという言葉も聞こえてきます。

こうした現実を踏まえたとき、私たちが将来にわたって安心して暮らすこ

とが出来かを確認し、その対策を立てることは現代人にとって必須の作業と言えるでしょう。ライフプランを作るということは、具体的にはライフイベント表を作成し、それに基づいてキャッシュフロー表を作る作業になります。

### 3. ライフプラン表作成の効果

それではライフプラン作成することで、どんな効果が期待できるのでしょうか？

1 番目は、自分の現在の生活費や財産がはっきりした金額で把握できることです。きっちり家計簿をつけ、預金や生命保険など財産額を把握している家庭は意外に少ないものです。私が相談を受けた方でも自分の正確な財産を把握している方は皆無と言っていい状況でした。

2 番目は、現状の生活を送っていたら 5 年後、10 年後どのような状況になるか。今後起こるライフイベントを考慮して、生活していくと将来どうなるかが具体的数字（金額）で把握できることになります。その結果、そうならないための対策を立てることが出来るようになります。

3 番目は、対策を立てた結果起こることです。例えば、このままでは 10 年後に蓄えはほとんどなくなってしまうという結果が出れば、当然生活費を切り詰めることになります。この生活費ダイエット効果が大きいのです。人間は具体的数字がないと生活費を切詰めることは難しいものです。その意味で身の丈に合った生活が今後可能になり、その結果将来安定した生活が送れるようになります。

4 番目は、具体的にどんなことが起こっているかです。ライフプランを作っている人で自己破産（老後破産など）に追込まれた人はほとんどいません。また、計画的に生活を送るようになった結果、そういう能力が仕事にも生かされるようになり、思わぬ出世の道が開けたり、仕事上信頼を得ることができたなど別の面でも効果が出ています。

皆さんもご自分のライフプランを作ってみたら如何でしょうか。

私たち FP 武蔵野グループでは、別添のとおり、12 月 11 日に武蔵野プレイスの事業である「市民先生」の催しで、午前 10 時より「自分で作れるライフプラン作成の方法」について講演と実践を行います。実践では、グループのメンバーがマンツーマンで、ご自分のライフプランが作れるようアドバイスいたします。

現代人に必須のライフプラン作成講座にぜひご来場ください。

以上